

週刊 渡辺大三 NEWS



「脱ムダ」で市政を変える！ 市政改革を前へ、前へ

【会派 NEWS】2020(令和2)年 8 月 24 日 週刊 vol.54

【ご意見ご要望はお気軽に】 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301

T 090-3345-6929 F 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

公式サイト daizou.org (Twitter、facebook には公式サイトからアクセスできます)

コロナ対策 補正予算を全会一致で可決

渡辺大三が起草した関連決議も賛成多数で可決

8 月 20 日、小金井市議会は臨時議会を開催し、西岡市長が提出した、新型コロナウイルス感染症対策の一般会計補正予算(第 5 回)を全会一致で可決しました。また、渡辺大三が原案を起草した関連決議(裏面に全文を掲載)は、賛成 18 反対 4 退席 1 で可決されました。反対 4 は「みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)」、退席 1 は「改革連合(篠原)」でした。

見えない・・・市の財政努力

予算規模は 7 億 2225 万 6000 円でしたが、財源の内訳を見ると、国が 6 億 1372 万 9000 円、東京都が 8852 万 7000 円で、小金井市自身の財源はわずか 2000 万円(予算全体のたった 2.7%ほど)となっています。昨年度の小金井市の一般会計の黒字額は約 22 億円でしたので、新型コロナウイルス感染症の影響に苦しむ市民や事業者を支援するべく、もっと積極的な財政出動をすべきだったと考えます。そのことは可決された決議(裏面)の第 1 項目に書いておきました。

渡辺大三の提案が実現

一方、国や東京都の財源を活用して、これまで私などが求めてきたコロナ対策のいくつかが予算に盛り込まれました。市議会からの種々の提案に対して、応えようとする姿勢は一定評価しています。なので、いろいろ問題はありますが賛成しました。

実現① 事業用不動産を賃借している事業者に限定されていた事業継続支援給付金(20万円)に関して、今回の補正予算で、事業用不動産を自ら

所有する事業者にも「応援金」(上限 20 万円)が支給されることになりました。渡辺大三が起草し、6 月 2 日に可決された決議で要求していた事項です。なお、先行して支給されている事業継続支援給付金の申請が見込みの半分以下となったことを踏まえ、その財源を活用して、第二弾の支援策を計画するよう、可決された決議(裏面)の第 2 項目に書いておきました。飲食業などを含め、コロナの影響は続いています。一回限りの支援ではなく、継続的な支援が必要です。

実現② 医療従事者や保育等従事者に慰労金が支給されることになりました。医療従事者には 5000 円から 10 万円、保育従事者には 5000 円相当となります。渡辺大三が起草し、6 月 23 日に可決された決議で要求していた事項です。

実現③ 4 月 28 日以降に生まれた新生児にも、特別定額給付金(10 万円)が支給されます。来年 4 月 1 日までに生まれた子どもが対象となります。年度途中が基準日であったため、もらえる子ども、もらえない子どもが発生し、不公平感がありました。改善を求めたところ、同じ学年となる子どもは平等に扱うことになりました。渡辺大三が議会の質疑で実施を求めていた事項です。

実現④ アーティスト等緊急支援事業として、動画提出者に対し、1 人あたり 5 万円(1 作品あたり上限 30 万円)を支給することとなりました。アーティスト支援は、渡辺大三が議会の質疑で実施を求めていた事項です。なお、金額が不十分であると考えましたので、可決された決議(裏面)の第 3 項目に書いておきました。

議案第55号 令和2年度小金井市一般会計補正予算(第5回)に関する決議

小金井市議会は、新型コロナウイルス感染症対策として市長が提出した「議案第55号 令和2年度小金井市一般会計補正予算(第5回)」に対して、以下の意見を付して議決する。

- 1 これまでに市議会が可決した決議や、市議会が採択した陳情書、各会派からの提案に対して、その具体化を図ろうとの姿勢が一定見受けられることについては評価する。しかしながら、今回の補正予算の歳入歳出総額7億2225万6000円の歳入内訳は、国庫補助金が6億1372万9000円、都補助金が8852万7000円で、小金井市自身の財源投入額はわずか2000万円に過ぎない。小金井市の前年度の一般会計の黒字額が22億2512万6804円であったことを踏まえれば、今回の補正予算において、新型コロナウイルス感染症の影響に苦しむ市民や事業者などを支えるために、中長期的な財政見通しを確立しつつ、その一部を積極的に活用するなどの工夫があつてしかるべきであった。
- 2 今回の補正予算では、市議会の決議を踏まえて、自己所有物件で事業を行う事業者のうち、売上減少の著しい者に対して20万円を上限とした「応援金」を支給する予算が計上された。このことは前向きに評価する。一方、先行して給付された、賃借物件で事業を行う事業者への事業継続給付金は、予想より申請が少なく、執行率は半分程度にとどまっている。これを未執行で終わらせることなく、事業者への第二弾の給付金として活用することを検討すべきである。
- 3 アーティスト等緊急支援のために、動画作品を募集し、一人当たり5万円(1作品あたり上限30万円)の謝礼を支払うとの予算が計上された。1作品を作成するための費用が一人当たり5万円ですufficientなのかや、提出されたコンテンツの活用については、事業の実施にあたって十分な精査を求めるものである。プロとして文化芸術活動に携わるアーティストの対象については柔軟に対応することを求める。加えて、今後、専門家や関係者の意見をよく聞いて、事業内容の詳細を早急に具体化することを求める。
- 4 4 医師会の共同により、PCR検査センターが設置され、検査業務に尽力されていることに心からの敬意を表するものである。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中で、東京都と協議しながら、PCR検査の拡充を求める。

上記のような課題はあるが、新型コロナウイルス感染症対策の遅延は許されないことから、市議会は意見を付して議決するものである。

以上、決議する。

令和2年8月20日

小金井市議会